

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン論 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田知義			実務 経験	無	職種					
授業概要											
さまざまなデザイナー、表現者の作品を鑑賞する。											
到達目標											
歴史的な推移のなかで「社会、文化、産業、美術、デザイン」の関わりを西洋と日本からの2つの視点で見ること。「現代の美術とデザインの理解を深める」ことを目標とする。											
授業方法											
長い歴史を持つ美術、本授業は現代デザインが育ちはじめた19世紀からスタートします。よく知られている「印象派」、当時は革命的な出来事でした。美術の基本的な概念「美しさ」や「美術らしさ」「見る事への探求心」「意味をかたちづくる」「造形する技術」等、美術とデザインが持つ同じ課題に対して、過去の著名な作家達がいかにか「イノベーション」を起こし、新しい創造をしてきたかという事を事例を参照しながら学ぶ。											
成績評価方法											
最終レポート55%学期末のレポート課題。中間レポート20%授業期間中、デザイン概念の理解促進のためレポート課題。振り返りシート15毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ、時間終了時に必ず提出すること。受講態度10%出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価する。											
履修上の注意											
授業に集中してノートをとることが必要です。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出します。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	美術概論を学ぶ基礎①										
第2回	美美術概論を学ぶ基礎②										
第3回	20世紀、抽象表現とデザイン①										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン論 2	
第4回	20世紀、抽象表現とデザイン②
第5回	20世紀、抽象表現とデザイン③
第6回	20世紀、抽象表現とデザイン④
第7回	20世紀、抽象表現とデザイン⑤
第8回	20世紀、抽象表現とデザイン⑥
第9回	西洋美術史の基礎①
第10回	西洋美術史の基礎②
第11回	西洋美術史の基礎③
第12回	日本の美術の多様さ①
第13回	日本の美術の多様さ②
第14回	日本の美術の多様さ③
第15回	現代のアートを俯瞰する